発行者：秦野市議会議員
やひろ伸二

議会だより

連絡先：
〒259－1392　秦野市堀山下１番地
TEL. 0463－88－2777（後援会事務所）
E-mail:shinji.yahiro@jcom.home.ne.jp

平成２９年 秦野市議会 第１回定例会報告！

秦野市議会第１回定例会(３月議会)が２月２３日から３月２３日の会期で開催され、市長提出議案２５件、報告４件、陳情３件などを審議・議決し閉会しました。主な内容は以下の通りです。

１．平成２９年度予算が決まる

平成２９年度予算は、秦野駅北口や鶴巻温泉駅南口周辺整備事業、秦野駅南部の区画整理事業、カルチャーパークの防犯カメラや放送設備設置、おおね公園の人工芝化などの大型事業を実施する結果、一般会計予算の総額は５１６億４，０００万円で、平成２８年度と比較し１８億７，０００万円（３．８％）の増となる５年連続の最高額の予算案が提出され賛成多数で可決しました。

市税全体の歳入は、平成２８年度と比較し２億円減となることが予想されるなど、依然として厳しい財政状況であることは変わっていません。また、プライマリーバランスも赤字となることも同時に予想されています。

この予算に対し市長は、今回の予算を「明日を担う子どもたちに、ふるさと秦野を引き継いでいく予算」としています。私は財政的に厳しい状況を踏まえ、今後の行政運営に対し一般質問などで苦言を呈す中で賛成しました。

＜一般会計予算で金額が大きい主な事業＞

事業名	予算額
生活保護費	33 億 6,208 万円
介護給付・訓練等給付費事業費	26 億 3,637 万円
児童手当費	25 億 4,824 万円
民間保育所等関係費	22 億 5,519 万円
公共下水道事業会計繰出金	21 億　500 万円
国民健康保険事業特別会計繰出金	20 億 4,500 万円
介護保険事業特別会計繰出金	17 億 2,173 万円
鶴巻温泉駅南口周辺整備事業費	12 億 9,479 万円
後期高齢者医療広域連合負担金	12 億 6,472 万円
秦野市伊勢原市環境衛生組合分担金	11 億 2,064 万円
本庁舎耐震対策事業費	5 億 2,059 万円
電算システム業務費	4 億 9,791 万円
小児医療費助成事業費	4 億 9,351 万円
児童扶養手当費	4 億 8,778 万円
重度障害者医療費助成事業費	4 億 4,380 万円

＜主な新規事業＞

事業名	予算額
公園施設管理費(防犯カメラや放送設備など)	2 億 6,086 万円
スポーツ施設改修事業費(おおね公園人工芝化)	2 億 4,325 万円
消防署西分署整備事業費	2 億　477 万円
本部・署用消防車両購入費	1 億 8,700 万円
秦野駅北口地区公共床取得費	1 億 2,800 万円
小・中学校トイレ快適化第二次整備事業費	6,195 万円
名水はだの富士見の湯管理運営費	5,853 万円
災害時協力井戸拡充事業費	51 万円
特定空家対策事業費	41 万円

２．平成２８年度補正予算を可決

平成２８年度一般会計予算総額に７億３７７万円を追加し、５１６億９，７０３万円とする提案がなされ、賛成多数で可決しました。私も補正は妥当と考え賛成しましたが、この補正には定年退職者に加え、早期退職者が多く出たことに対する追加補正も含まれています。今後の市政運営のため、原因を分析する必要があるとした上で賛成しました。

＜主な事業＞

事業名	予算額
職員給与費	1 億 2,598 万円
国県支出金等返納金	1 億 4,610 万円
民間保育所 施設型等給付費	1 億 4,047 万円
中学校施設改修事業費(本町・東)	7,000 万円

３．若年低所得者層向け市営住宅の募集

市営住宅の薬師原団地（下大槻２２４番地の１ほか）において、高層部に入居する高齢者の階段昇降が困難となっていること、また、高齢化に伴いコミュニティの継続が困難となっていることから、月額収入が１５万８千円以下などとする市営住宅の入居条件に加え、下記条件を満たす方へ４、５階への入居を募集する提案がなされ、賛成多数で可決しました。

＜入居の条件概要＞

項　目	条件概要
期　間	10 年間
対　象	① その世帯の属するすべての子が小学校卒業前の世帯 ② 構成員が 35 歳以上の夫婦のみの世帯
承　継	入居者の退去等により配偶者の入居の承継を認めますが、その期間については入居期間の残期間とする。
説明等	入居が決定したとき、入居期間の説明、入居期間が満了する 1 年前から 6 か月前までに入居期間の満了の通知をそれぞれ行う。
期間の更新	入居期間満了時点において、入居世帯の状況により 1 回に限り、次のいずれかの早い日を限度として更新できる。 ① 更新の日から 5 年を経過する日 ② 扶養している子が中学校を卒業する日の属する月の末日

☆☆☆　市政相談は「やひろ伸二後援会」事務所まで　☆☆☆

平成２９年　第１回定例会　一般質問内容　やひろ伸二

今定例会において、市税収入が減少傾向となる中で、「行政運営に関する取組み」について、３項目(行政評価、行財政改革、ネーミングライツ)の質問を行いました。主な内容は下記となります。

行政運営に関する取組みついて
１．行政評価（人事・教育など）

〔質　問〕

(1) 市税収入が減少する環境下、昨年の１１月に行財政調査会が、市職員の「人事評価」「給与体系」「教育や評価制度」の見直しについて、初となる外部評価を行った。その評価の中で「戦略的な人材育成」が必要との結果が出された。今後の対応は？

(2) 評価内容に「現状ではフィードバック面談が徹底されていないことに対して、完全に徹底させるための具体的な手法が必要である。」との記述があった。この記述の意味は？

〔回　答〕

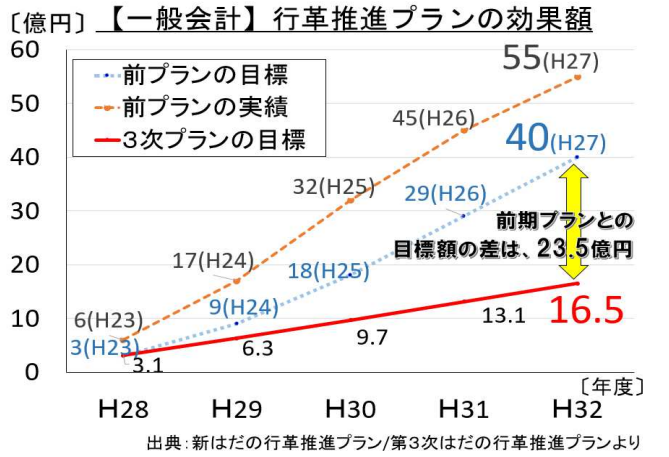
(1) 職員を取巻く様々な環境の変化や職員の思い・職場の状況などを把握しつつ、評価結果を踏まえながら、引続き「職員づくり基本方針」及び「同実施計画」に基づく様々な方策を推進し、この方針の基本理念の実現に努めていく。

(2) 今年度から各課でのフィードバック面談の実施結果報告を求め、状況を把握するよう徹底した。今後も人事評価における面談の重要性を踏まえ制度の見直し及び推進に努めていく。

◆◇　意　見　要　望　◇◆

現在、目標管理制度の導入も検討している中で、市長ならびに部・課・個人の目標設定は、非常に重要となる。またフィードバック面談は、個人・組織の課題などが明確になる重要なツールでもある。管理職の方々は覚悟をもって導入するよう要望する。

２．行財政改革の成果と今後



〔質　問〕

(1) 平成２２～２７年度の「新はだの行革推進プラン」の成果は、一般会計で累計４０億円削減する目標に対し、５５億円の実績を上げたことについて高く評価する。また、平成２８～３２年度では「第３次はだの行革推進プラン実行計画・実行方針」が策定され、行政調査委会の評価内容に「主管課だけで、改革に取組むのではなく…庁内での横断的な取組み強化が求められる。」との記述があったが、どのような取組みをイメージしているのか？

(2) 評価内容に「痛みの分かち合い」との記述があるが、市民と行政の分かち合いだとした場合、行政はどのような痛みを分かち合うのか？

〔回　答〕

(1) 特に優先すべき項目については、庁内の横断的な連携により、その方向性を決定し、改革の実現に向けて取組むことをイメージしている。

(2) 公共サービスの配分を根本から見つめ直し、公共の領域の多様化、市民や企業、ＮＰＯなどの連携で支えるなど、行政に依存しない地域づくりをめざす必要も生じると考えている。

◆◇　意　見　要　望　◇◆

刻々と変化する市民ニーズに対応した行政サービスとなるよう努力を続けて欲しい。

３．ネーミングライツ導入に向けた進捗状況

〔質　問〕

(1) 平成２７年第２回定例会の一般質問で私は、野球場や総合体育館などにネーミングライツを導入すべきだと質問した。導入の取組み状況は？

(2) 今後、いつ、どのように検討・導入されるのか？

＜伊勢原市のネーミングライツ契約状況＞

契　約　施　設	契約金額（年額）
伊勢原球場	130 万円
鈴川公園	100 万円
合　計	230 万円

〔回　答〕

(1) 市民や利用者が混乱しないよう、まずは「秦野市カルチャーパーク」という名称を市民に広く浸透させることを考えている。但し、ネーミングライツは、施設の維持管理や運営経費を確保する有効な手段であるため、導入に向けた具体的な検討を進めていきたい。

(2) ネーミングライツを導入する場合、直ちに募集できる訳ではない。対象施設の選定や導入方針などの整備に向けた検討を行い、命名権販売という公共イメージの損失や名称の定着などの課題についても、併せて精査していきたい。

◆◇　意　見　要　望　◇◆

歳入が右肩上がりの時代は、市民が喜ぶ事業に多額の歳出をすれば良かった。これからは、行政も経営感覚を持ってネーミングライツなどの税外収入を効率良く得る必要もある。その他にも、例えばパークゴルフ場をつくり運営するなどの定期的収入を得る事業も検討しながら行政運営を進めて欲しい。